

令和2年度「学校評価」 結果公表シート

学校法人 池浦学園
熊取みどり幼稚園

当園ではこの度、令和2年度の幼稚園学校評価として、園長のリーダーシップのもと教職員自己評価、学校関係者評価を実施いたしました。「二人でひとり」というキャッチフレーズのもと、子どもたちのために何をすべきかを皆で検討し、園の改善活動に取り組みましたので、その取組みを本シートに纏め、公表いたします。

I. 教育目標

モットー

「心優しく、元気でたくましく生きる子供」

教育目標

「一人一人を大切に、質の高い教育を目指します。」

今年度のキャッチフレーズ

「二人でひとり！」（全クラス2人担任）

教育方針

- 四大行事（七夕音楽会・運動会・幼稚園まつり・生活発表会）に取り組み、行事の練習を通じてやる気・粘り強さ・忍耐力・協調性などを養います。
- 基本的な生活習慣（あいさつ、返事、靴を揃える等）を身につけます。

II. 今年度の重点目標

「二人でひとり」のキャッチフレーズのもと、日々の教育内容をより充実させる。また、園の教職員全員で研修形式の会議を開き、園内の細かな問題点や課題を抽出し、改善できる内容について改善を行う。

III. 評価項目と取組み状況

評価項目	取組み内容	今年度の取組み状況
1 安全管理体制の強化	感染症対策における園環境の整備と保護者への発信	A 感染症対策において換気や消毒、検温といった保育環境の整備だけでなく、それを保護者に発信して安心感を与えることにも注力した。行事のやり方を繰り返し話し合ったり、日々の保育の中に試行錯誤して最適な保育が出来るように取り組んだ。ケガや事故への対策に関しては、中庭をクッション性の高い床に工事し、安全性の強化を図った。
	保育環境の整備	A
3 業務の効率化	行事とカリキュラムの見直し	B コロナ禍における最適な行事の内容や日常保育における事務作業などの業務内容を見直しを実施し、職場環境の向上と保育サービスの質の向上を両立する。

【評価の基準】

A	十分達成されている
B	達成されている
C	取組まれているが、成果が十分でない
D	取組みが不十分である

IV. 今後取り組むべき課題

1 教育の充実	全クラス2人担任という特色をもとに、地域のファンづくりを展開する。
2 安全管理体制の強化	引き続き感染予防対策を設備面と意識の面に対応する。
3 未就園児クラスの充実	園生活がイメージできるカリキュラムを検討する。

V. 学校関係者の評価

・自己評価、課題設定は適切に行われております。
・業務の効率化とサービスの質の維持の両立は非常に難易度が高い試みだと思いますが、実現できれば園児、保護者、教職員全員にとって素晴らしい園に近づくと感じます。
・昨年はコロナ対応で大変だったと思いますが、そこで得たものもあったと思います。
・子どもが減少している中、他園との差別化要素と園の魅力を上手く発信していく事が今後の課題だと感じます。
・今後も関係者として支援させていただければと存じます。